

授業科目名・形態	生活支援技術論 I 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	関口 麗子	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

介護実践の根拠となる人体の構造や機能について基礎的な知識を習得し、対象者の生活を支援するという観点から、身体的・心理的・社会的側面を統合的に捉えるための知識を身につける。

【到達目標】

- 1) 人間の心理、人体の構造と機能の基礎的な知識を理解する。
- 2) 生活支援の場面に応じた、心身のしくみ及び機能低下や障害が生活に及ぼす影響について理解する。
- 3) 利用者の残存能力を活用し、安全・安楽を考慮した援助の基本姿勢を理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 オリエンテーション、健康とは何か
- 第 2 回 人間の欲求、自己実現
- 第 3 回 こころのしくみの基礎 ①「こころ」「脳」のしくみ
- 第 4 回 こころのしくみの基礎 ②「学習・記憶・思考」「感情」「認知」等
- 第 5 回 からだのしくみ ①心身の調和、恒常性、からだの各部位の役割
- 第 6 回 からだのしくみ ②関連する役割、および薬の知識
- 第 7 回 移動に関連したしくみ ①移動の必要性、移動に関連したからだのしくみ
- 第 8 回 移動に関連したところとからだのしくみ ②心身機能の低下が及ぼす影響
- 第 9 回 移動に関連したところとからだのしくみ ③変化への気づきと対応
- 第 10 回 身じたくに関連したところとからだのしくみ①身じたくの必要性と身じたくに関連したからだのしくみ
- 第 11 回 身じたくに関連したところとからだのしくみ ②心身機能の低下が及ぼす影響
- 第 12 回 身じたくに関連したところとからだのしくみ ③変化への気づきと対応
- 第 13 回 食事に関連したところとからだのしくみ ①食事の意義と必要性、消化器系の理解
- 第 14 回 食事に関連したところとからだのしくみ ②心身機能の低下が及ぼす影響
- 第 15 回 食事に関連したところとからだのしくみ ③変化への気づきと対応

【授業実施方法】

基本的には講義形式でおこない、DVD 等の活用をする。

【授業準備】

予習においては教科書の該当頁、関連書籍の該当頁を読み、理解できない箇所を明確にする。

【主な関連する科目】

介護の基本Ⅱ、日常生活支援技術Ⅰ、発達と老化の理解

【教科書等】

「最新・介護福祉士養成講座 11 こころとからだのしくみ」＜中央法規＞

【参考文献】

「最新・介護福祉士養成講座 7 生活支援技術Ⅱ」＜中央法規＞

【成績評価方法】

小試験・前期定期試験等 90%、・授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療機関での看護職として患者や家族への対応等を経験

臨床場面での患者や組織のマネジメントの経験を活かし、こころとからだのはたらきやしくみに関する基礎知識を理解し、それが生活機能に結びついていることを総合的に学習できることを目指しています。

さらに日々の生活を安全、安楽に過ごしていくために、異常・危険・感染への対応や多職種との連携をとることの重要性も示していきたいと思ひます。

【学生へのメッセージ】

身体各部位の名称、医学・心理学用語など専門用語は復習を繰り返しながら、学習する。また、自分の身体を使って名称を理解し、具体的な日常生活に結び付けて理解する。